

# 令和2年度 社会福祉法人 百八会 事業報告

## 1 はじめに

社会福祉法人百八会は、地域から頼られ選ばれる魅力ある施設を目指し、基本理念に基づいた活動を行うところであったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な活動が制限された。令和2年度は、制限下であっても少しでも地域の力になり、寄り添える活動を行った。

魅力ある施設には魅力ある人材の確保が不可欠であることから、職員一人ひとりがいきいきと働き、仕事を通じて成長できる職場環境づくりを目指すため各種研修やメンタルヘルス不調を未然に防ぐためのストレスチェック、人事考課を定期的実施した。法人全体で働き方改革に取り組み、適正かつ効果的な人事考課を行い、魅力ある人材を育成することにより介護サービスの質の向上を図り、地域の皆さまのご期待に添うべく法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層研鑽を積み続ける。

また通年のインフルエンザ等の感染症予防対策に加え、新型コロナウイルス感染拡大予防策を講じ継続的に取り組んだ。「コロナを持ち込まない・広げない」を常に念頭に置き、引き続き、感染症の予防・蔓延防止に向けた取り組みを実施していく。

## 2 概要

### (1) 組織

理事：9名      評議員：10名      監事：2名  
評議員選任解任委員：3名

### (2) 理事会開催状況

第1回 令和2年6月11日開催  
議案 第一次補正予算（案）について  
令和元年度 事業報告について  
令和元年度 決算報告について  
任期満了に伴う理事の選任（案）について  
就業規則の一部改正（案）について  
共同募金の指定寄付（案）について  
施設整備費の借入金（案）について  
理事長の職務執行状況報告

第2回 令和2年8月20日提案（書面決裁）

議案 借入金について

第3回 令和2年9月4日提案（書面決裁）

議案 独立行政法人 福祉医療機構への借入金について

第4回 令和2年12月11日提案（書面決裁）

議案 共同募金指定寄付の取下げについて

施設設備費の借入金（案）について

経理規程の変更について

東町デイサービスセンターの事業計画及び予算について

育児・介護休業規程の一部改訂について

第5回 令和3年3月25日提案（書面決裁）

議案 令和2年度 補正予算（案）について

令和3年度 事業計画書（案）について

令和3年度 予算（案）について

賞与に伴う借入金について

理事長の職務執行状況について

### （3）評議員会開催状況

第1回 令和2年6月26日開催

議案 令和元年度 事業報告について

令和元年度 決算報告について

任期満了に伴う理事の選任（案）について

## 3 事業所

- ・ 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・ シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所
- ・ シルバーピアさくら樹 東町デイサービスセンター  
(令和3年1月12日開所)

#### 4 地域福祉の推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のサロン健康教室、老人会等の地域行事がほとんど中止となり、地域の方との交流が激減した。また、ボランティア受入も制限を余儀なくされたが、ボランティアの作品展示を行うなど、少しでも交流がもてる環境づくりに努めた。

- ・ 令和2年7月豪雨被災者受入れ

熊本県南部を襲った7月豪雨で被災した特別養護老人ホームより、一時避難として入居者1名を受入れた。



- ・ 一時避難者受入れ

台風10号の影響により、令和2年9月6日～7日の期間、さくら樹地域交流スペース及びデイルームを開放し、主に地域の住民を対象に「一時避難所」を開設。15名の地域住民を受け入れた。



- ・ 地域交流スペースの活用

東町デイサービス併設の地域交流スペースは、東町団地及び近隣地域の誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民の共生・交流の場となることを目的としている。

子供からお年寄りまでの多世代が集い、交流することによって、新たな交友関係が広がり、地域でつながり支え合う互助を生み出すよう努めた。

- ・ エコキャップ収集活動

イオン九州株式会社が行っている「ペットボトルで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」に2008年から協力開始。

職員や地域住民の協力でペットボトルのキャップを収集し、令和2年度は合計151.3kg（ポリオワクチン約35人分）を届けた。



- ・ 日本財団へ寄付

2017年より社会貢献型自動販売機「夢の貯金箱(日本財団)」を設置し、飲料1本につき10円を寄付している。

令和2年度は49,640円を寄付した。



寄附金は災害復興支援に役立てられる。

## 5 広報

- (1) 「地域交流紙さくら樹」を年4回、各700部を発行。春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)さくら樹の出来事やイベント等のお知らせ、入居者のご家族、デイやヘルパーご利用者だけでなく、市内の特養や地域住民等に広く配布し、施設のPRに活用。表紙にご利用者や職員の写真を掲載したことで、ご意見やご感想がより多く寄せられるようになった。ご意見は職員全体で共有し、紙面作成やその他の活動の参考にすることができた。
- (2) 法人運営の透明性確保のためインターネットを活用した。法人のホームページに定款、決算報告、役員報酬、広報紙など法人の情報を公表。併せて処遇改善計画書の掲示も行っている。熊本市のホームページに現況報告書等を公表している。

## 6 施設内研修実績

実施月	研修内容（担当部署・委員会）
令和2年 4月	コロナ感染拡大防止のため中止
5月	コロナ感染拡大防止のため中止
6月	コロナ感染拡大防止のため中止
7月	食中毒（DVD）
8月	新型コロナウイルス感染症について（DVD）
9月	権利擁護（プライバシー保護、個人情報の取り扱い）
10月	事故防止の知識（オンライン研修）
11月	接遇の理解と現場にふさわしい言葉使い（オンライン研修）
12月	インフルエンザ、ノロウイルス対応
令和3年 1月	対人トラブル
2月	パワハラ・セクハラ
3月	各自で興味のあるものを視聴

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外部講師を招かず  
 令和2年度より、オンライン研修を導入した。  
 各自オンラインによる研修を行い、テーマに沿った内容の研修を  
 視聴し、感想文を提出した。

## 7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、施設長、幹部職員	毎月第1木曜	各事業所の現状・問題点など
教育委員会	施設長、各部署代表	偶数月第1火曜	施設内外の教育・研修について協議、企画実施
安全対策委員会	本部長、施設長、各部署代表	偶数月第3木曜	ヒヤリハットの検証などについて
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第1木曜	職員の労働・安全・健康に関する事項
災害対策委員会	施設長、各部署代表	偶数月第3火曜日	防災計画、災害時マニュアルの整備
感染対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	感染症予防、発生時の感染拡大防止
福利厚生委員会	各部署代表	随時	職員の福利厚生について
苦情・CS委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	サービス向上のための諸問題検討、解決。施設、職員への苦言・接遇・ご意見を取り上げる。再発防止策の検討・実施。
地域浸透プロジェクト委員会	各部署代表	毎月第2水曜日	行事の企画実施・広報誌・ホームページ・展示・掲示物について
ボランティア委員会	各部署代表	随時	ボランティアについて

# 令和2年度 特別養護老人ホームシルバーピアさくら樹 事業報告書

## 1 事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により入居者様の生活に多大な影響を及ぼした。感染予防対策として、面会制限、外出制限、ユニット間の交流中止、集団レクリエーションの中止等、今までとは違った日常生活となった。その中で、私たちは社会福祉法人百八会の基本理念に基づき「個人の尊重」を基本方針とし、入居者様の新しい生活様式と健康管理に努め、日々安全で健康的な生活を送れるよう援助し、ケア向上の為自己研鑽に努めた。

## 2 適切な生活支援

年度当初は、感染予防のため面会制限を行っていたが、窓越し面会やLINEを用いたオンライン面会を取り入れ、入居者様とご家族の面会が出来るよう整備した。又、ユニットごとの環境整備やリビングでの座席位置の工夫、居室及びリビングの換気等、入居者様の身体・生活状況を把握しながら感染予防に努め、穏やかな日常生活が送れるよう配慮した。

レクリエーションは、例年とはスタイルを変えて活動を行った。芋の苗植えから芋ほり、干し柿づくり等をユニットごとに行った。又、足湯、秋祭り、餅つき、門松づくり、初詣等は三密を避け、広く換気ができるレクリエーションルーム等で開催し、一度に集合せずユニットごとに参加した。初の試みで、東京の旅行会社提供の伊勢神宮参りオンラインツアーにユニットごとで参加し、旅行気分を楽しんでいただいた。臨場感のある映像を視聴され非常に喜ばれた。

## 3 健康管理

週2回以上の往診と年2回の健康診断を行い、入居者様の健康状態を常に把握、情報共有に努めた。令和2年度の入院者数は14名、平均入院日数は30日で昨年より減少している。日常生活の中では経口摂取を維持できるように、口腔ケア・口腔体操を行い、お一人お一人の食事量・水分量・排泄状況・睡眠等の情報交換を密に行い、異常の早期発見に努め、身体状況を判断し速やかに担当医と相談することが出来てよりの確な病院受診につなげた。

## 4 入居者状況（令和3年2月28日現在）

- (1) 入居者数：50名 男性：9名 女性：41名
- 平均介護度…4.16（男性：3.89 女性：4.22）
- 平均年齢…89.3歳（男性：88.1歳 女性：89.8歳）

- (2) 新入居者：15名  
男性：2名 女性：13名  
老健：5名 有料老人ホーム：4名 病院：2名 自宅：3名  
グループホームから入居：1名
- (3) 退居者：14名  
死亡：13名（看取り：10名 病院：3名）他施設へ：1名
- (4) 受診の延べ回数…77回  
皮膚科が半数近くを占め、白内障の手術などで眼科受診も多かったが、内科の受診は昨年より半分以下だった。  
皮膚科：32回 内科：29回 眼科：8回 精神科：5回 耳鼻科：2回  
整形外科：1回
- (5) 入院の延べ人数…13名  
誤嚥性肺炎：4名 尿路感染症：2名 胆管炎：2名  
脳梗塞・白内障手術・イレウス・敗血症・带状疱疹：各1名

## 5 職員の状況

### (1) 委員会活動への参加

新型コロナウイルス感染症予防のため、さくら樹全体の定期的な委員会、入居部の委員会活動を毎月行うことができなかったが、安全対策委員会、感染委員会、褥瘡委員会、レクリエーション委員会等は、事前に議案内容を回覧し、三密を避ける対策をとり、短時間で開催するよう配慮した。

### (2) 研修参加

例年通りの施設内外研修を行うことがほとんどできなかったため、新しい取り組みとしてネット配信研修を取り入れた。教育委員会が中心となり、月ごとに施設内研修で受けて欲しい研修内容（番号）を選定し、イントラネットで視聴内容を提示、職員はネット研修を視聴して感想文を提出することとした。また、指定された研修以外の項目についても自由に視聴することができるため、自分自身が学びたいテーマをユニットのパソコンやスマホで受けることができた。研修内容が豊富で、研修時間も15分から90分までと見たい時にいつでも研修を受けることができるため、職員に好評であった。今後も活用していきたい。

## 6 一年間を通して

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策に全職員で取り組んだ。先が見えない状況で面会もできず、入居者様・ご家族も不安な状況であったが、入居者様・職員から感染者が出なかったことは、ご家族・職員とその家族の協力があったからこそだと感謝している。

年間14名の方が退居され、そのうち10名の方は施設にて看取を行った。

入居者様・ご家族が望まれる最期を迎えるために、ご家族と一緒にカンファレンスを行い、少しでも寄り添うケアができるよう努めた。令和2年度は15名の方が老健や有料老人ホーム等より入居されたが、面会が出来ないため、入居時は不安に思われていたが、新しい環境に1日でも早く馴染まれるよう日々のケアに努めた。又、職員については、同法人にて新設された事業所への異動、ユニット間の異動を行った。退職者は介護福祉士1名、看護師1名だった。介護アシスタント3名を専門職がより業務に専念できるようユニットに配置した。又、産休・育休を取得していた職員も順次復帰を果たしており、職員が安心して復帰できる環境整備に努めた。介護職員の不足が懸念されている昨今、年度末時点で職員数は充足しており、今後より専門性を追求できるよう、働きやすい職場風土作りと職員の質の向上に努めていきたい。

## 7 ショートステイ 利用状況（令和2年度実績）

月	利用人数（延べ）	利用率（％）
4月	138	77
5月	128	69
6月	133	74
7月	139	75
8月	176	95
9月	174	97
10月	164	88
11月	158	88
12月	155	83
R3年1月	154	83
2月	147	88
3月	162	87

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、送迎時の検温・消毒・換気を行い、利用者様・ご家族の行動等の情報収集を実施した。また、ユニット内での座席の位置等を工夫（向かい合って座らない）し、感染防止に努めた。4月～6月頃は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、利用を自粛される利用者様（ご家族）もおられたが、県内での感染者数が減少した夏期頃は利用される方が増加した。また、他のショートステイで新規の受け入れを制限しているところがあり、ご紹介等も含め新規申込数が増加したため、ベッド数が不足しお断りするケースもあった。今後も、居宅ケアマネージャーとの連携を図り、空床がある際は、利用者様をご紹介いただくなど、利用につながるような良好な関係づくりに努めていきたい。



# 令和2年度 シルバーピアさくら樹 通所介護事業所 事業報告書

## 1 事業報告

介護保険法に基づき、通所介護事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等が利用者の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持並びに利用者家族の身体的・精神的負担軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供した。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し12月31日～1月3日を除く）
サービス提供時間	午前9時15分～午後4時30分
利用定員	50名（令和2年10月1日より55名⇒50名）

## 2 事業内容

### (1) 生活支援

利用者の生活状況を把握し、指導・援助を実施。（家族や利用者間の調整、自立支援のための個別プログラム、利用日の調整など）

### (2) 機能訓練

利用者のADLの評価を行い、個々の身体状況に応じてプログラム内容を策定し実施した。またグループ活動におけるゲームや行事参加などに加えて運動療法、音楽療法も実施し職員と利用者との良好な人間関係を築けるような雰囲気づくりを心がけた。

### (3) 養護

1日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるよう人間関係づくりを心がけた。

### (4) 健康チェック

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、脈拍測定、パルスオキシメーター測定、排便コントロール、血糖測定や定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行った。

### (5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関まで(door to door)の送迎を安全に行った。

### (6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個人浴、機械浴、清拭、足浴の対応を行い保清に努めた。また、皮膚状態の観察を行い異常の早期発見と対応に努めた。

### (7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み、行事食の企画や季節感あふれる献立（管理栄養士が作成）で、個人の咀嚼能力（刻み食、トロミ食、ソフト食など）に応じた対応ができた。また食事前の嚥下体操、食事後の口腔ケアも実施できた。

### (8) インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対策や年間を通して下記のことを行った。

- ①施設到着後に手洗いと緑茶でのうがい(現在中止)
- ②手指のアルコール消毒（来設後・昼食前・おやつ前に実施）
- ③昼食前のテーブルの消毒と拭き上げ
- ④1日2回以上の換気
- ⑤1日3回の消毒
- ⑥営業終了後に椅子やテーブルなどの消毒を実施
- ⑦加湿器や空気清浄機の設置
- ⑧机にパーテーションの設置

上記の他、令和元年12月初旬から職員は常時マスク着用を徹底し、利用者には送迎車でマスク着用を徹底した。令和2年1月からはボランティア受入を中止した。現在、利用者の利用時のマスクの着用の徹底を行っている。

## 3 その他の活動や行事

### (1) 機能回復訓練を目的としたレクリエーション活動の企画と実施

レクリエーションは、「集団で行うもの」「個別で行うもの」「グループで行うもの」の3通りに分け、利用者の希望によりレクリエーション活動に参加していただいた。良好な人間関係を形成していただき利用者の自主性・積極性を引き出す活動を行った。毎月のデイ会議で企画や実施後の反省点などについての意見交換を行い、次のレクリエーション活動に繋いでいった。

### (2) カルチャー

「集団で行うもの」と「個別で行うもの」の2通りに分けて、利用者の希望によりカルチャー活動に参加して頂いた。

### (3) ボランティアの受け入れ

現在、新型コロナ等の感染症予防の為、ボランティアの受け入れを全面中止している。

今後、状況が落ち着けば、下記内容の再開を行っていききたい。

内容：地域の方の協力により、定期的に来設いただき、話し相手や外出の付き添い、日舞・民謡・唱歌・琵琶や三味線・大正琴演奏・尺八やオカリナ演奏・ギター演奏・フラダンス・囲碁・手話ダンス・保育園の慰問、書道、絵手紙・折り紙・ちぎり絵の作品指導に来ていただきたい。年末には、希望者を対象とした、しめ飾りやクリスマスリース作りを実施したい。

### (4) 地域支援

新型コロナなどの感染症予防の為、参加を見合わせる事が多かった。今後状況が落ち着けば、下記内容の再開を行っていききたい。

内容：近隣の地域で行われている高齢者のサロンや老人会へ参加し、血圧測定や健康相談、ゲームやレクリエーション、健康体操等を実施し地域との交流に努める。

## 4 利用者の動向

### (1) 登録者内訳（令和3年3月31日現在）

#### ①利用者数(名)

	予防	介護	計
男性	7	22	29
女性	12	68	80
合計	19	90	109

#### 休み

入院/入所	13
自宅療養	2
計(名)	15

※3月登録者数 124名

\* 令和3年3月31日の登録者数 124名 (R2年度は117名)。

そのうち15名が入院や老健施設を利用されており、実績は109名であった。

(新型コロナによる利用自粛は0名)

#### ②年齢

年齢(歳)	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合計
人数(名)	0	2	6	7	16	36	42	109

最年少：67歳

最高齢：101歳

平均年齢：86.9歳

男性：84.2歳 女性：87.9歳

(R3.3.31現在)

平均年齢：86.4歳

男性：83.4歳 女性：87.4歳

(R2.4.1~R3.3.31)

### ③世帯構成

同居	独居	有料老人ホーム
87	17	5

計 109 名

### ④要介護度

介護度	人数	計
要支援 1	14	計 19
要支援 2	5	
要介護 1	51	計 90
要介護 2	16	
要介護 3	16	
要介護 4	4	
要介護 5	3	

合計 109 名

平均介護度：1.58 男性：1.33 女性 1.68 (R3. 3. 31 現在)
---

平均介護度：1.65 男性：1.47 女性 1.71 (R2. 4. 1～R3. 3. 31)
---

- \* 平均年齢は昨年より 1 歳増えている。平均介護度はほぼ変わらない。  
(介護 4～5 の方の利用の減少や入院の頻度が多くなっている)。  
引き続き、新規の要介護者や中重度の利用者の受け入れを継続していく。

### ⑤関連事業所 計 45 事業所

赤とんぼ (終了)	あかり	アヤメ
ヴィラながみね	おびやま居宅	こころ (終了)
看護協会くまもと	くましき	熊本ケアプランセンター
くるみケアプランセンター (終了)	ぐれいす	ケアプラス
Let`s ケアプラン! 熊本東	たくまだい熊本	サンライズヒル (終了)
Let`s ケアプラン! 桜十字	トラスティホームげんき	はあとふる
ハーモニー (終了)	八王子の杜	はなもも
ヒルサイドガーデン大樹	ふれあいの里	ふくし大夢
おんさ (新規)	益城病院	みどりの樹 健軍
みどりの館 (終了)	ゆうだい (終了)	ライフケアわかば
ささえりあ 尾ノ上	ささえりあ 桜木・秋津	ふれあいケア熊本 (終了)
居宅あきつ	パンプキンハウス (終了)	医師会在宅ケアセンター
ヴィーブル (終了)	居宅 すいぜんじ	熊本ケアネットワーク
栞 (新規)	ツクイ熊本 田井島	西日本ケアセンター
在宅 S T 水前寺	ささえりあ 江津湖	シルバーピアさくら樹

\*新規の事業所との契約が2件、終了の事業所が10件あった。  
 また、自居宅からの紹介、契約も多かった。  
 コロナ禍の状況であるが、引き続き居宅へのPRを行っていく。

(2) 年間利用者 H31年4月～R2年3月

①月別利用者(件)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自費	計
4月	15	61	390	267	178	29	30	0	970
5月	15	54	391	221	154	39	42	0	916
6月	23	59	454	194	156	55	39	0	980
7月	35	67	490	185	161	61	43	0	1,042
8月	26	64	454	168	141	60	39	0	952
9月	29	64	445	176	152	42	35	4	947
10月	44	72	508	185	169	32	43	5	1,058
11月	37	44	520	186	179	17	41	4	1,028
12月	41	43	548	186	179	24	39	4	1,064
1月	45	35	485	167	187	23	37	4	983
2月	48	40	526	143	181	20	28	8	994
3月	53	45	573	151	184	32	31	3	1,072
合計	411	648	5,784	2,229	2,021	434	447	32	12,006
平均	34.3	54	482	185.8	168.4	36.2	37.3	2.7	1,001

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度	970	916	980	1,042	952	947	1,058	1,028	1,064	983	994	1,072
元年度	970	958	875	859	927	906	1,052	1,032	990	990	985	993
30年度	892	956	891	887	937	956	1,083	970	878	762	789	908
29年度	884	999	916	930	962	963	996	962	928	808	799	955
28年度	581	851	911	925	914	939	938	923	959	884	841	953

\*R2年度 12,006件 平均1,000.5件 (稼働日309日：台風の為1日休業)

\*H31年度 11,537件 平均961.4件 (稼働日311日)

\*H30年度 10,999件 平均909.1件 (稼働日308日)

\*H29年度 11,102件 平均925.2件

\*H28年度 10,619件 平均884.9件 (地震の為、6日間中止)

②月別利用者（名）

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	5	8	42	26	16	3	3	103
5月	4	7	41	22	14	3	4	95
6月	6	7	44	20	15	4	4	100
7月	7	8	45	19	15	5	4	103
8月	7	8	44	20	14	5	4	102
9月	8	10	43	19	16	5	4	105
10月	10	10	47	19	15	4	4	109
11月	10	7	52	20	15	2	4	110
12月	10	6	52	21	17	3	4	115
1月	12	5	50	19	16	3	4	109
2月	13	6	53	18	15	3	4	112
3月	14	5	51	16	16	4	3	109
合計	108	87	564	239	184	44	46	1,272
平均	9	7.3	47	20	15.3	3.7	3.8	106

2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	3	2	2	2	4	4	8	6	6	1	3	1	42
終了	3	4	6	2	3	4	3	3	2	2	0	4	36

\* 平均で新規 3.5 件、終了・中止 3 件と新規が上回った。

<入院・入所・自宅安静等> R2.3.31 12名

H31.3.31 9名

2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院等	8	9	11	15	15	16	10	8	11	12	10	14	139

\* 令和2年度は月目標 1,092 件、日 42 件（稼働日 26 日計算）を目標とした。

上半期は新型コロナの影響で利用自粛や新規の受け入れの自粛により、平均 37.2 件だったが、下半期は、入院や利用自粛もあったが、新規や現利用者の利用回数の増などもあり 40.2 件と増えた。しかし年間平均 39.7 件で目標達成とはならなかった。

また、9月7日は台風の影響で臨時休業を行った。

\* 年間を通し、平均で 40 件を超えた月は 11 月～2 月と 4 か月続いた。

今後も新規の受け入れ、利用の定着を図り、利用者の状態変化への対応を早期に行う事で、入院などを予防し、利用の継続を図っていきたい。

\*R3 年度は、月目標 1,092 件、日 42 件（稼働日 26 日計算）を目標とした。  
R2 年 2 月中旬より新型コロナの影響で利用自粛の利用者が徐々に増えてきているため、推移を見ながら、自、他居宅への営業も積極的に再開していく。  
現在の空き状況に関しては、居宅へ月 2 回 F A X を行っているため、継続していく。

## 5 令和元年度年間行事

※ 随時 毎月誕生会

	行 事	行事食及び特別献立
4 月	・お花見 : 見合わせ ・家族会 : 見合わせ	・行事食 ・セレクトおやつ
5 月		・行事食 ・セレクトおやつ
6 月		・行事食 ・セレクトおやつ
7 月	・七夕祭り 7/7	・七夕食 7/7 ・セレクトおやつ
8 月		・行事食 ・セレクトおやつ
9 月	・敬老会 9/15~9/21 ・飾り馬 : 中止 ・家族会 : 見合わせ	・祝敬老食 9/15~21 ・セレクトおやつ
10 月	・家族会 : 見合わせ ・コスモス見学 10/12~10/16	・行事食 ・セレクトおやつ
11 月	・文化祭 11/1~30	・寿司バイキング 11/2 ・セレクトおやつ
12 月	・Xmas リース、しめ飾り作り : 見合わせ ・ゆず湯 12/21 ・クリスマス会 12/25	・クリスマスオードブル 12/25 ・セレクトおやつ
令和 2 年 1 月	・初詣 : 見合わせ	・祝新年食 1/4~1/9 ・セレクトおやつ
2 月	・節分 2/3	・恵方巻き 2/3 ・セレクトおやつ
3 月	・おひな祭り 3/3	・ちらし寿司 3/3 ・セレクトおやつ

\*R2 年度は、R1 年度と同様に 4 グループ（季節ごとに）に分け、行事を行う事にしたが、新型コロナの影響で行事の縮小や見合わせが多かった。R2 年度も R1 年度と同様に、業務改善や職員の負担軽減を図りつつ、感染予防も考慮し行事等の充実を図っていく。

## 6 職員（新人）内部研修（第1木曜日）

4月	中止（自主学習）
5月	中止（自主学習）
6月	中止（自主学習）
7月	中止（自主学習）
8月	中止（自主学習）
9月	中止（自主学習）※ネット研修開始
10月	中止（自主学習）
11月	中止（自主学習）
12月	中止（自主学習）
令和2年 1月	中止（自主学習）
2月	中止（自主学習）
3月	中止（自主学習）

\* 専門職としての資質向上と、より良いサービスの提供を目指し、職員の連携を大切にしていた研修会議を行う予定であったが、新型コロナの影響で自主学習に変更を行った。また、会議も中止や縮小を行った。施設内研修や外部研修も中止や積極的な参加が出来なかった。

必要に応じて業務の見直しも行った。

## 7 地域行事・サロン

山ノ内1町内サロン	
山ノ内3町内サロン	
桜木東校区 夏祭り	
山ノ内2町内サロン	
東町団地サロン	7月13日
社協サロン	
桜木校区 もちつき	
山ノ内4町内サロン	

\* サロンの予定はあったが、新型コロナの影響で中止が多かったため、1件のみの参加となった。

## 8 まとめ・総括（次年度に向けて）

令和3年度の目標は下記の通りとし、目標を達成出来るよう事業所一丸となり取り組んでいく。

- ① 目標平均 42 件/日、1,092 件/月
- ② 整理・整頓
- ③ 報・連・相の徹底
- ④ 地域行事への参加・交流または外部研修会への参加（全スタッフ年1回以上）



# 令和2年度 シルバーピアさくら樹訪問介護事業所 事業報告書

## 1 事業報告

社会福祉法人百八会の訪問介護事業所は、基本理念を基に事業運営に努めた。利用者が安心してすこやかに生活していただける環境の提供を目指し、事業所と在宅・地域との連携を取りながら事業推進を図った。

また、地域に根ざした幅広いサービスの提供と、法人施設全体のスケールメリットを生かした事業展開を行なった。

- (1) 利用者本位で、尊厳のある生活を守り、自立を目指した生活支援に努めた。(ADLの維持・向上と高いQOLの実現)
- (2) 利用者が、日々健康な生活を維持できるよう健康管理に努めた。
- (3) 保健・福祉・医療の各関係機関との連携を密にし、サービス提供責任者と訪問介護員のサービスの質の向上を図った。
- (4) 専門職を高めるため各自自覚をもち、自己研鑽に励み、理論的な裏付けに基づいたサービスの方法・技術の向上に努め、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指した。
- (5) 利用者一人一人の嗜好に応えられるよう勉強し、支援した。
- (6) 掃除等、家事については、利用者の出来ないところの支援を行い、保有能力を活かせるように支援した。

## 2 活動報告

予定していた研修への参加や事業所の広報活動は、コロナの感染予防対策のため殆ど行う事が出来なかったが、関連機関との連携を密にとりながら事業所の魅力や地域に貢献する姿勢のアピールに務めた。

## 3 訪問介護員(登録ヘルパー)勉強会報告(登録ヘルパー16名)

- 4月 各自目標設定、法人の理念説明
- 5月 病気についての知識と正しい薬の飲み方、腰痛体操
- 6月 介護保険上、ホームヘルパーの出来る事、出来ない事
- 7月 救命救急講習会開催(緊急・救急時対応の手段の検討)
- 8月 訪問介護接遇研修
- 9月 調理実習(嚥下障害がある方に適した料理など)
- 10月 認知症を正しく理解する
- 11月 動作介助・排泄介助などの身体介護の手順

- 1 2月 感染予防
- 1月 メンタルヘルス勉強会
- 2月 リスクマネジメント
- 3月 各自の一年間の目標達成について自己評価

#### 4 研修会等参加のまとめ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、勉強会は行わず、各自にその月のテーマの資料を配布し、レポートを提出することとした。個別の質問に対してはその都度対応した。このような状況の中、訪問介護員1名が介護福祉士の資格を取得するなど、それぞれスキル向上に努めた。誰もが安心して在宅生活が続けられるような支援ができる訪問介護事業所を目指し、今後も訪問介護員の一人一人が知識・技術の向上を意識し専門職として今後ますます自己研鑽に努めていきたい。

#### 5 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 個々の体調管理、マスク着用と手指消毒、車内消毒の徹底
- (2) 利用者とその家族、各関係者に向けて「新型コロナウイルス感染症対策についてのお願い」の書面を配布
- (3) 令和3年3月2日・22日 PCR検査実施

#### 6 年間を通して

新型コロナウイルス感染症対策を講じ、状況に応じた対応をとりながら利用者の健全な在宅生活を守った。職員にとっても安全で働きやすく、働き甲斐のある職場作りを目指した。今後もムダを省き効率よく、そして実績向上に繋がるよう努力する。

# 令和2年度 シルバーピアさくら樹居宅介護支援事業所 事業報告書

## 1 事業報告

- (1) 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて関係先と連携して支援した。
- (2) 要介護認定を受けられた利用者及び、家族の生活を支援し、在宅介護をはじめとした総合相談に応じるよう努めた。また福祉サービスの提供及び社会資源の有効活用が出来るよう、市町村保険者、地域包括支援センター、保健・医療・福祉サービス提供機関との連絡調整を行った。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、できるだけ他者との接触を行わないように関係事業所とは電話・FAXでの連絡を行い、モニタリング訪問時は事前に電話で情報を得て訪問の不可を確認し、マスク着用を行い、アルコール除菌剤持参で面談を行った。また、広範囲で利用者のサービスが停止した場合、受け皿となる他のサービスが不足することを想定して利用者の身体状況や環境などを整理し、緊急時の対応の分類の準備・検討を行った。

### (4) 営業日・営業時間及び営業しない日

営業日	月曜日～土曜日
営業時間	午前8時30分～午後5時
営業しない日	日曜日・祝祭日・年末年始（12/31～1/3）原則として

## 2 事業内容

- (1) 在宅介護に関する全般的な相談
- (2) 居宅サービス計画、予防サービス支援計画の作成
  - ① 利用者へサービスの選択に必要な情報を提供
  - ② 利用者を支援する上での課題の把握と利用者及び家族への説明
  - ③ サービスの目標、達成時期を盛り込んだ居宅サービス計画の作成
  - ④ サービス担当者会議の定期的開催、担当者との連絡調整
  - ⑤ サービス計画書に対する利用者の同意
  - ⑥ サービスの実施状況の把握と評価
- (3) 行政・地域包括支援センターとの連携
- (4) 医療・福祉との連携
- (5) 新しいサービス、施設等の情報収集
- (6) 医療・介護・福祉に関連した研修
- (7) 地域活動の支援（サロンや老人会への参加、協力、支援）

### 3 新規利用者紹介先

ささえりあ、託麻台病院、西日本病院・水前寺とうや病院、平成とうや病院  
杉村病院、熊本機能病院、有料老人ホーム、家族・知人、他居宅事業所、  
サービス事業所、地域、要支援より要介護へ更新等（56件）

### 4 研修報告

- (1) 事業所内の困難事例検討（毎月）
- (2) 他法人の運営する居宅介護支援事業所との共同事例検討（4ヶ月に1回）
- (3) 課題共有型地域ケア会議・自立支援型の地域ケア会議（リモート）
- (4) 東区主任ケアマネジャー会議（1回）
- (5) 熊本市認定調査員新規研修
- (6) 認定調査員現任フォロー研修（WEB参加）

※その他施設内研修（WEB）、ミーティング（1回/週）等も行っている。

### 5 利用者実績(比較)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	22	22	22	22	22	24	22	24	22	20	21	21	264
要介護	145	155	154	151	152	154	163	164	165	156	157	157	1873
合計	167	177	176	173	174	178	185	188	187	176	178	178	2137
R元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	19	17	18	24	25	24	23	23	21	22	24	22	262
要介護	122	126	126	124	122	131	133	137	146	152	149	149	1617
合計	141	143	144	148	147	155	156	160	167	174	173	171	1879

（次年度に向けて）

入院や入所・死亡等で利用者の減少する月はあったが、新規利用者獲得もあり登録者数 200 人の目標達成ができ、一人平均 37 人 34 件を担当し昨年を大幅に上回った。今後も件数を維持し質の向上に努め、グループ病院や包括支援センター及び、地域の病院、事業所、施設等と連携を図っていききたい。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になっている地域サロンや老人会が再開した時には積極的に参加していききたい。

# 令和2年度 シルバーピア東町デイサービスセンター 事業報告書

## 1 事業報告

介護保険法に基づき、通所介護事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等が利用者の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持並びに利用者家族の身体的・精神的負担軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供した。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し12月31日～1月3日を除く）
サービス提供時間	午前9時15分～午後4時30分
利用定員	20名

## 2 事業内容

### (1) 生活支援

自立支援を中心に、利用者本人・家族・親族への生活状況に合わせた支援を実施した。

### (2) 機能訓練

利用者の病態や併存症、加齢に伴う症状の把握を行い訓練に伴うリスクへ注意を払いながら、利用者・家族が希望する目標に対して個別の訓練計画を作成し実施した。目標はICFに準じ身体構造、心身機能、活動、参加に着目した目標を立て本人、家族へ説明・同意を得て実施した。

### (3) 養護

1日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるよう人間関係づくりを心がけた。

### (4) 健康状態の確認

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、脈拍測定、パルスオキシメーター測定、排便コントロール、定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行った。

(5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関までの送迎を安全に行った。天候等への対応を随時行い、利用者自身が安全に行うことができる移動手段を主体に送迎を実施した。

(6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個別浴の対応を行い保清に努めた。また皮膚状態の観察、入浴後の必要な処置等を行い、異常があった場合の早期発見に努めた。

(7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み、行事食の企画や季節感のあふれる献立を管理栄養士が検討し提供した。利用者の嚥下機能に応じた食事形態の提供および食事介助・食後の口腔ケアが必要な利用者への対応を行った。

(8) 感染予防

季節毎の感染症予防対策および新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底した

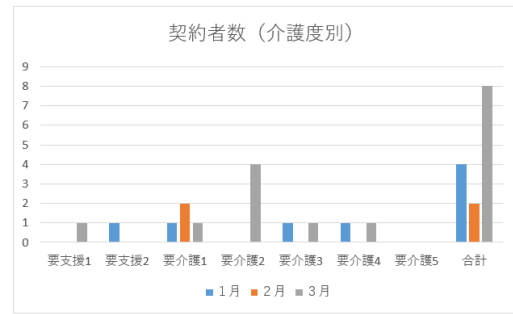
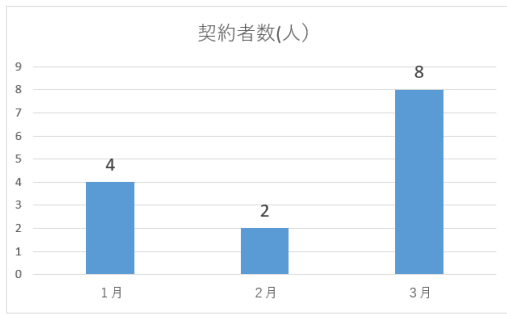
- ・施設内での手指消毒、施設到着後/食前/排泄後
- ・濃度 70%以上のアルコール消毒
- ・非接触型のアルコールディスペンサー導入 (6 台)
- ・食事前のテーブル消毒
- ・常時換気
- ・設置機材の消毒 (1 人利用 1 消毒対応)
- ・パーティションの配置
- ・座席間隔 2m以上
- ・職員/利用者のサービス提供時間 (食事時間除く) のマスク着用
- ・施設への入館時に名前・電話番号・住所記載および検温の実施  
体温 37℃以上の場合は腋下体温計で再検し入館を判断した
- ・施設利用後の掃除に界面活性剤セーフキーフによる拭き取り

(9) その他の活動

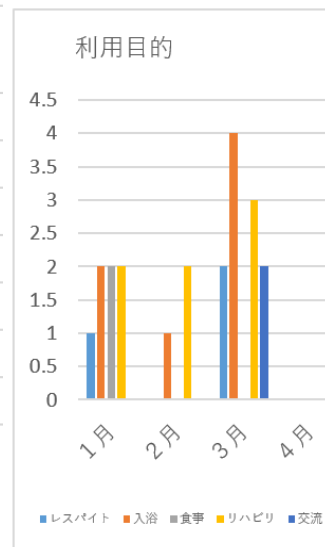
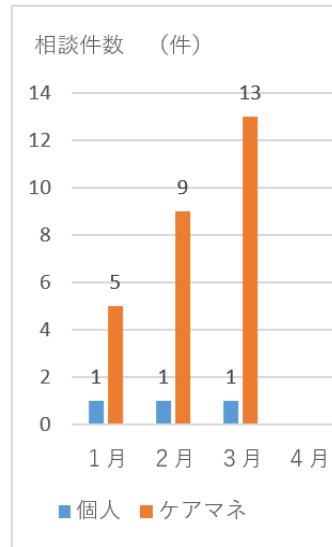
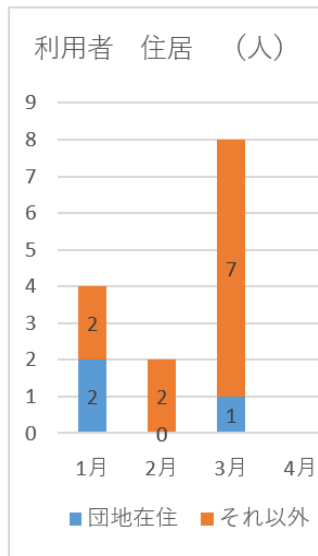
リラクゼーション機器の導入・実施

脳賦活を目的としたトレーニング・レクリエーション (全て個別)  
個々の希望に合わせた活動 (カラオケ・動画鑑賞)

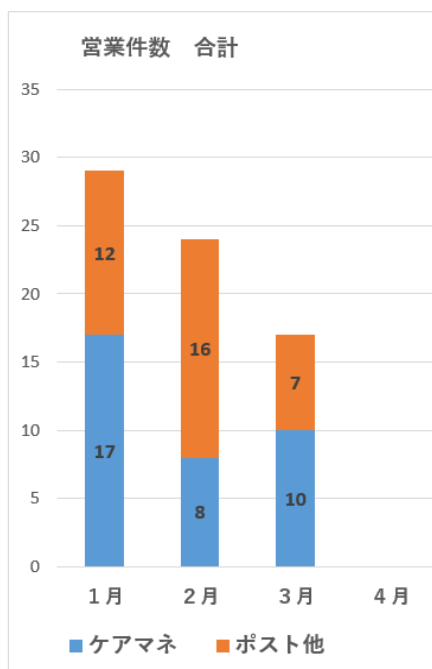
### 3 利用状況報告



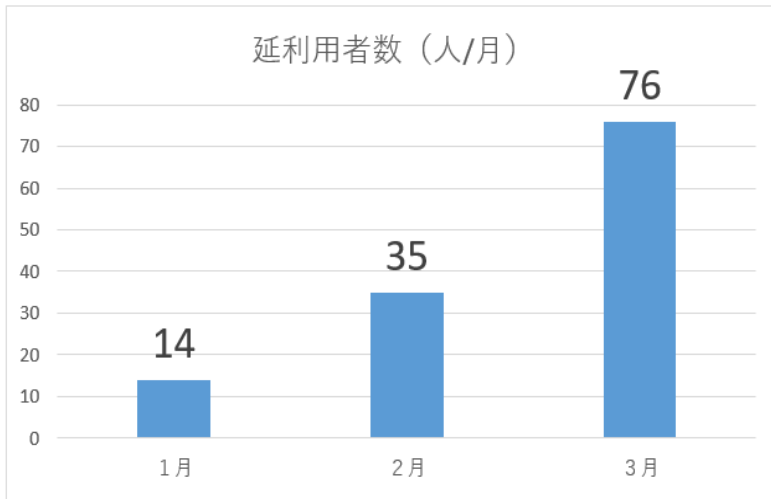
3カ月累計の新規契約者数は14名であった。(令和3年1月12日開設)  
介護度は要介護1・2が最も多く、次いで要介護3・4の契約があった。



利用者の居住区は上記参照。相談件数は月ごとにケアマネジャーからの紹介が増加。  
利用目的では入浴が一番多く、次いでリハビリテーションの希望があった。



営業件数ではケアマネジャーへ直接のコンタクトが35件、ポスティング対応が35件であった。コロナ禍の影響により営業活動が難しいこともあり、居宅側から直接訪問を控えてほしい旨の対応も多くみられた。



令和3年1月12日より、東町デイサービスセンター開設となる。年間目標として、10人/日・延べ利用者数240人/月と設定した。新規事業所であり令和2年度の3カ月間での目標達成は困難であるが、上記のように相談件数・利用者数は増加傾向にあるため次年度の目標達成に取り組む。

#### 4 年間行事報告

##### 令和2年度 デイサービス 年間行事

	行 事	行事食及び特別献立
1月		正月食/おやつセレクト
2月	節分/バレンタインイベント	節分食/おやつセレクト
3月	ひな祭りイベント	ひな祭り食/おやつセレクト

#### 5 職員研修

##### 令和3年1月～3月

1月	実施なし
2月	ネット研修：対人トラブル
3月	ネット研修：令和3年度 介護報酬改定について

#### 6 年間目標

- (1) 1日利用者平均10名＝月間延べ利用者数240名/月
- (2) 組織的活動（報告・連絡・相談）
- (3) 感染予防の徹底および啓蒙（スタッフ全員が対策を理解し実施できる）
- (4) 技術・知識の研鑽（web研修を用いた月/1回以上の勉強会への参加）
- (5) 連携力の強化（グループ法人内情報共有の徹底・電話等、直接の情報収集・提供）
- (6) 地域交流ルームの活動周知（近隣住民・地域への周知）